

シート防水屋根向け 太陽光パネル設置用下地フレームの販売開始

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤宏明）は、シート防水屋根に太陽光パネルを設置するための下地工法「ハイタフ®EG ソーラーフレーム」の販売を開始しました。

近年、温室効果ガスの排出量削減や生産施設や物流倉庫などの省エネ対策のため、屋根上に太陽光パネル設置を検討されているお客様からお問い合わせ・お引き合いを数多く頂いております。

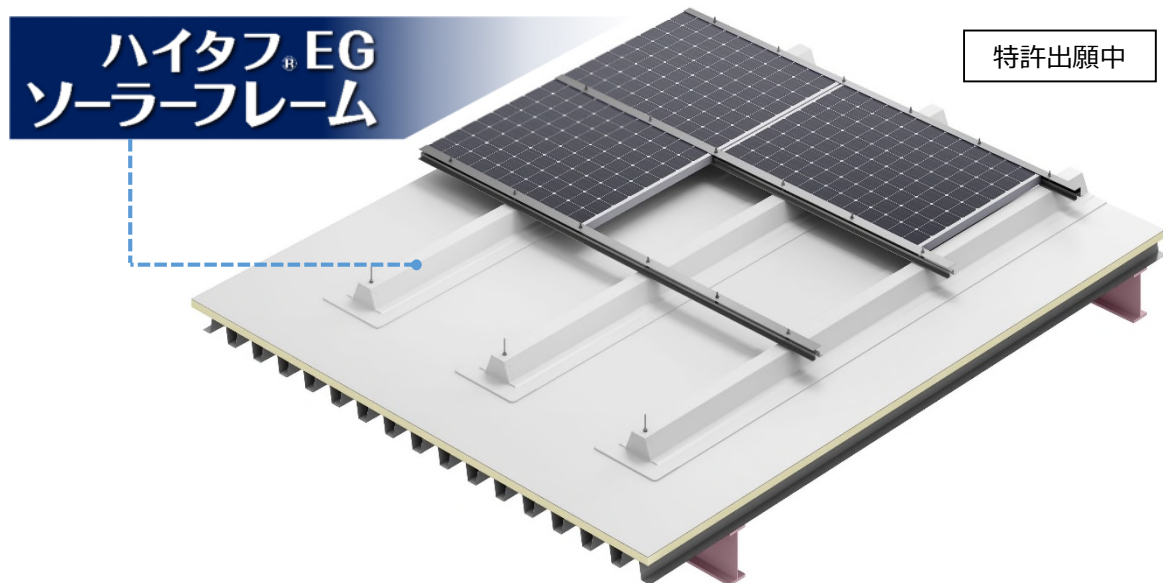
これまでシート防水屋根に太陽光発電パネルを設置する際には、防水層と断熱材をくり抜いて下地を固定する工法、もしくはコンクリート基礎を防水屋根に設置する工法が採用されてきました。

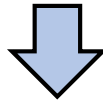
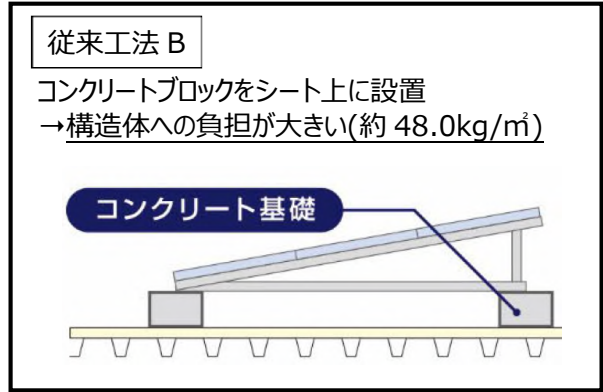
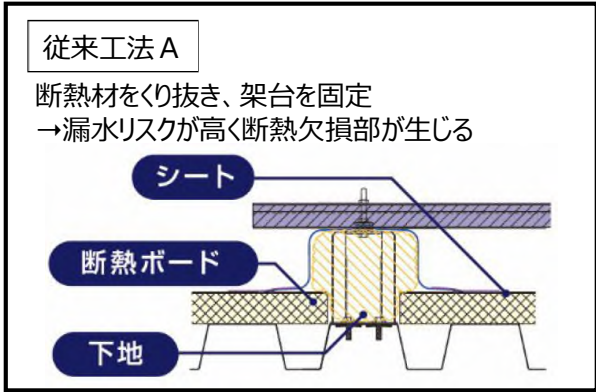
しかしながら、防水層に穴をあけ断熱材をくり抜く工法では、漏水リスクが高まると同時に断熱欠損が発生するという課題が、コンクリート基礎を置く工法では重量が約 48kg/m²増加し防水層を痛めると同時に建物全体に掛かる負荷も増加するという課題がありました。

この度開発した「ハイタフ®EG ソーラーフレーム(特許出願中)」はそれらの課題を解決する画期的な工法となっております。

【特徴】

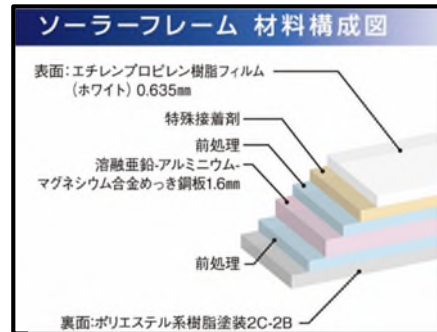
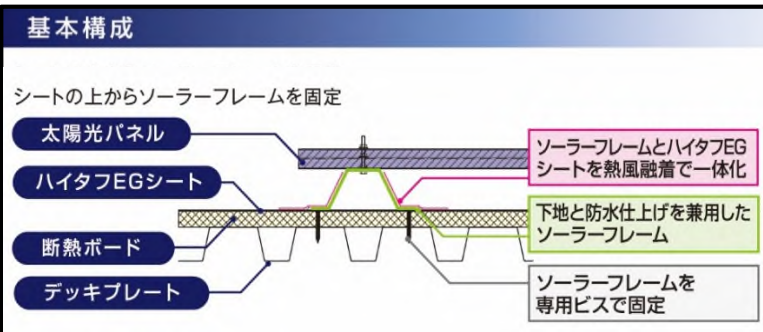
- ◇シート防水屋根の新築、改修どちらにも対応可能
- ◇防水シート及び断熱ボードをくり抜かない工法で漏水リスク低減・断熱欠損部なし
- ◇デッキプレート下地への固定は、ほぼ切り粉レスの専用ビスを使用し、風に強く、建屋内部の養生も原則不要
- ◇フレーム設置工法の重量(18.5kg/m²)は、コンクリート置き基礎工法(約 48.0kg/m²)から 60%の重量低減
- ◇当社従来工法に比べ 30%の工期短縮
- ◇建物条件に合わせた強度設計から施工まで当社で一貫した管理





従来工法の欠点を克服した新工法を開発

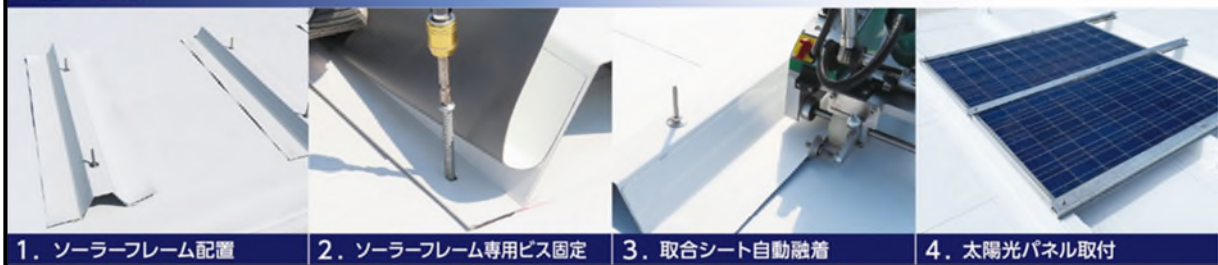
ハイタフ[®]EG ソーラーフレーム



【特徴】 シート防水屋根の上からソーラーフレームを固定する新工法

- ◇シート防水屋根の新築、改修どちらにも対応可能
- ◇防水シート及び断熱ボードをくり抜かない工法で漏水リスク低減・断熱欠損部なし
- ◇デッキプレート下地への固定は、ほぼ切り粉レスの専用ビスを使用し、風に強く、建屋内部の養生も原則不要
- ◇フレーム設置工法の重量(18.5kg/m²)は、コンクリート置き基礎工法(48.0kg/m²)から 60%の重量低減
- ◇当社従来工法に比べ 30%の工期短縮
- ◇建物条件に合わせた強度設計から施工まで当社で一貫した管理

施工手順



三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして「未来のために、今から屋根ができること。」をキーワードに持続可能な社会実現に向けた商品をお客様にご提供し、これからも社会に貢献して参ります。

以上